

令和2年度福岡県がん検診よか取組み事業所知事表彰候補事業所一覧

(1) A事業所

登録年度	平成27年度
地域	北九州
業種	製造業
従業員数	52名
取組み	要精密検査の判定が出た従業員を個別に呼び出し、受診勧奨を行い記録を取っている。また、便潜血など受診しなかった項目がある方から理由を報告書として提出させている。 定期健診の際に病院が提供しているオプション検査の申し込みを受け付けて、受診日程の調整を実施している。事務所にのぼりを設置している。 喫煙ルームへのステッカー掲示(4/1から屋内禁煙化。)産業医大の教授のメルマガを受信し定期的に禁煙の情報をキャッチして、喫煙者に転送している。 正社員の平均年齢が43歳であり、そろそろがん罹患する者が出てもおかしくないため、更なる情報提供をすることを目的として、更なるがん対策に取り組む予定である。

(2) B事業所

登録年度	令和元年度
地域	北九州
業種	サービス業(他に分類されないもの)
従業員数	30名
取組み	受診促進の声掛けをするとともに、定例会議にてがんに関するビデオを上映している。 がん検診については会社で費用を全額負担し、全員が漏れなく受けるよう会社で代理申請を行っている。検診中は勤務時間としての取扱いとしている。事業所内にのぼりを置いている。 がん検診を受診させ、がんの早期発見、治療に努めている。

(3) C事業所

登録年度	平成27年度
地域	福岡
業種	サービス業(他に分類されないもの)
従業員数	14名
取組み	月例責任者会議にて、健康保健委員から受診促進の声掛けと検診の重要性を一斉メールで周知。 がん検診費用を全額補助し、受診申し込みは健康保健委員が一括申込、検診を勤務扱いとしている。 がん検診推進事業所のポスターの社内掲示、がん検診推進ミニのぼりを社員休憩スペースに設置。 日本人女性に多いと言われる高濃度乳腺(デンスプレスト)の情報提供、乳がん検診のマンモグラフィーに加え、乳腺エコーによる検診を勧奨した。

(4) D事業所

登録年度	平成26年度
地域	福岡
業種	建設業
従業員数	6名
取組み	全従業員が出席する会議での声かけをし、「働く世代をがんから守るがん検診受診促進大会」への出席と、そこで発表された優良事例・知識の開示をしている。また、会議での呼びかけにより、受診を推進している。 がん検診を含む健康診断(協会けんぽの一般健診)費用の会社負担、就業時間内での受診(有給休暇を取らなくても受診できるようにすることで従業員の負担をなくす)、検診の予約を会社が代行、事務所内の行事予定表にて周知(従業員の手間をなくす、予約忘れを防ぐ)を実施している。 のぼり旗を応接スペースに掲示し、従業員だけでなく社外の人にも見てもらえるよう工夫した。 今年度は、福岡市が行っている「トイレトペーパーを活用した大腸がん検診啓発事業」に参加。 大腸がん検診を呼びかけるステッカーを社内トイレに掲示し、大腸がん検診に関する情報が印刷されたトイレトペーパーを購入・使用することで、トイレを使用するたびに大腸がん検診の意識付けできるよう変更した。 トイレトペーパーは、全従業員に一つずつ配布し、各家庭での大腸がん検診への呼びかけに利用。 また、工夫したことではないが、受診対象者(40歳以上)に該当しない35歳以上の従業員についても、がん検診を受診させている。

(5) E事業所

登録年度	平成29年度
地域	福岡
業種	建設業
従業員数	59名
取組み	がん検診の受診促進の声掛けをしている。 検診費用の補助とがん検診の予約を会社が一括で行っている。 ミニのぼりを事務所の出入りに設置。 女性は乳がん・子宮頸がんの検診を毎年実施し、45歳以上の男性はPAS検査を追加で受けさせている。

(6) F事業所

登録年度	平成25年度
地域	福岡
業種	製造業
従業員数	484名
取組み	朝礼で声掛けをして、バリウム検査は全社員受診することとしている。 バリウム検査は社員全員全額補助、女性のがん検診は全額補助または一部補助している。 社内でグッズを設置している。 年齢にかかわらず社員全員が「がん」を意識してもらえるように、受診料の補助と声掛けを徹底している。

(7) G事業所

登録年度	平成25年度
地域	福岡
業種	建設業
従業員数	23名
取組み	朝礼や全体会議にて検診日を告知。年一回のがん検診推進大会には社員が交代で毎年参加し、社員に広く情報がいきわたるように努めている。その際配布された該当する内容のチラシなども回覧している。 検診費用の全額負担、検診日は勤務扱いとし、検診の申し込みは担当者が一括手配している。 各事業所の玄関先の目につくところに、のぼりの設置。また、トイレにも大腸がん検診推進のシールを貼付受診後の再検査が必要な社員の、再検査の受診状況確認を継続実施している。

(8) H事業所

登録年度	平成25年度
地域	福岡
業種	建設業
従業員数	8名
取組み	がん検診受診促進の呼びかけや、会議などでの情報提供に努めている。 検診費用については事業所で一部負担し、健康診断日には有給休暇を付与している。 大腸がん検診に使ったトイレトーパーを使用している。 会社全体では前年度まで、がん検診以外の健康診断を実施していたので、協会けんぽの検診費用補助を利用してがん検診を実施している。

(9) I事業所

登録年度	平成25年度
地域	福岡
業種	学術研究、専門・技術サービス業
従業員数	6名
取組み	40歳以上の社員全員に、ガン検診を実施。35歳以上の社員に対しては受診勧奨。 検診費用は全額会社負担で、検査申込手続きは総務で一括申請している。 また、受診は勤務時間内に実施している。 罹患経験のある社員が、定期健診の都度ミーティングで体験を語ってもらい、受診を推進している。

(10) J事業所

登録年度	平成28年度
地域	福岡
業種	建設業
従業員数	2名
取組み	がん検診受診の呼びかけを実施し、勉強会の開催をしている。 検診日は有給扱いとし、検診費用は会社で一部負担、予約も会社で一括申請している。 再検査が必要な場合は個人面談で再検査の日を決め、早急に受診するよう工夫している。

(11) K事業所

登録年度	平成25年度
地域	福岡
業種	建設業
従業員数	42名
取組み	がんに関する勉強会を実施している。 検診日は有給扱いとし、検診費用は会社で一部負担、予約も会社で一括申請している。 大腸がん検診のトイレトペーパーを社員に配布している。 社員の家族にもがん検診の受診を進めている。

(12) L事業所

登録年度	平成26年度
地域	筑豊
業種	建設業
従業員数	7名
取組み	朝礼で受診促進の声かけを実施。 検診費用は事業所が全額負担し、検診日は出勤扱いとしている。 毎年の検診時にがん検診を追加。現場の工程によって検診日程を決め、会社で検診を申し込んでいる。 事務所の入口にステッカーを掲示し、従業員の休憩所には啓発グッズを設置普段から声かけを行い、 検診の重要性や検診に行きやすくするような職場の環境作りや雰囲気作りを実施。

(13) M事業所

登録年度	平成25年度
地域	筑後
業種	建設業
従業員数	15名
取組み	朝礼での声掛けと会議での情報提供を実施。 検診日は有給扱いとし、検診費用は会社で一部負担、予約も会社で一括申請している。 従業員通用口の目立つ場所に掲示している。 付加健診や本人希望の精密検査費用の全額補助も実施している。

(14) N事業所

登録年度	平成25年度
地域	筑後
業種	建設業
従業員数	19名
取組み	事業所主体で令和元年度より40才以上の者を対象に、勤続年数に応じて予防健診を実施。 業務時間中に受診させ、費用も会社負担で実施している。 結果が思わしくない人については、結果を本人に渡すのではなく、家族に送付。家族を巻き込んで周知を促し、さらに事業所の主治医から直接連絡・呼び出し・指導も依頼している。